

© 発行 中京大学
〒466-8666
名古屋市中昭和区八事本町101-2
■広報部
TEL 052-835-7135
■スポーツ振興部
TEL 0565-46-6935
http://www.chukyo-u.ac.jp



中京大学スポーツ

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

2017 (平成 29) 年

10月20日

第17号

平昌へ思い熱く

フィギュア 宇野昌磨
モーグル 堀島行真 伊藤みき3選手



激励会に出席した(右から)宇野選手、堀島選手、伊藤選手
平昌五輪に臨む気持ちを力強く語った

激励会で活躍誓う

2018年2月の冬季五輪平昌大会を目指す選手たちを応援する「中京大学平昌五輪激励会」が9月23日、名古屋キャンパスで開かれた。フィギュアスケートの宇野昌磨選手(スポーツ科2)、トヨタ自動車、フリースタイルスキー・モーグルの堀島行真選手(スポーツ科2)、伊藤みき選手(2009年度体育卒、北野建設)の3人が出席。アルペンスキー・回転の湯浅直樹選手(今年度体育学修士修了、スポーツアルペンスキークラブ)は映像で参加し、「アルペンスキーに恩返しする滑りをしたい」と抱負を述べた。

アルペン 湯浅直樹選手も映像参加

激励会には梅村学園とないで、よろ「ごぶ」に連携協定を結ぶ名古屋大とユモアを交えて励まし、韓民国総領事館の鄭煥星(ジョン・ファンソン)総領事が来賓として出席した。鄭総領事は、五輪開催国の立場から「日本屈指のスポーツの名門大学としての名誉も担って平昌で頑張ってください」と激励した。

「金を目指す」「見届けて」

3選手は、平昌五輪への思いを、集まった大学関係者ら約180人に伝えた。宇野選手は「1番の意味」、堀島選手には「一つ一つのこぶを越えるのを恐ろしく思わないで、よる『ごぶ』に、伊藤選手には「3回の経験を生かして」と呼びかけた。さらに「3人に共通するの」を「金を目指して」と期待を寄せた。

チームに貢献 9レース

水泳インカレ 高橋美紀主将

「達成感というより、安んじ返った。水泳部は男子、女子と心感に近いかな。水泳部女子主将の高橋美紀選手(スポーツ科4、愛み大瑞穂)は、日本学生選手権(9月、大阪)で3日間に9レースを戦い抜いた結果をそう振

ニバーシアードの代表の座も逃した。インカレ直前も「調子が今ひとつ。頑張り」とタイムが比例しない」と浮かない表情だった。しかし、インカレ初日の200秒で優勝、チームを勢いづけた。「最初のアップの時、それも最後の最後で体が軽く感じ、『行けるかも』と思っただけです。そして2回目



200m背泳ぎで表彰された高橋選手

「金を目指す」「見届けて」今年3月の世界選手権で2種目制覇した堀島選手は「五輪を『小さい頃からの夢』と言いつつ、皆そこで勝つことを目指してやる中で、その日の1番は一人だけ、その一人になるよう頑張りたい」と、金メダル獲得に期待した。

「一番大切なときに一番の滑りをする。瞬間、瞬間の滑りを見てほしい」と伊藤選手。堀島選手は「モーグルもフィギュアのように演技の競技だと思おう。特にジャンプの部分を見てもらえたらうれしい」、宇野選手は「自分は苦手なところが無いのが強みだと思おう。最後まで見届けてほしい」。3選手は自らの見せ所を説明し、大会本番に向けた応援に期待した。

「一番大切なときに一番の滑りをする。瞬間、瞬間の滑りを見てほしい」と伊藤選手。堀島選手は「モーグルもフィギュアのように演技の競技だと思おう。特にジャンプの部分を見てもらえたらうれしい」、宇野選手は「自分は苦手なところが無いのが強みだと思おう。最後まで見届けてほしい」。3選手は自らの見せ所を説明し、大会本番に向けた応援に期待した。

「一番大切なときに一番の滑りをする。瞬間、瞬間の滑りを見てほしい」と伊藤選手。堀島選手は「モーグルもフィギュアのように演技の競技だと思おう。特にジャンプの部分を見てもらえたらうれしい」、宇野選手は「自分は苦手なところが無いのが強みだと思おう。最後まで見届けてほしい」。3選手は自らの見せ所を説明し、大会本番に向けた応援に期待した。

題字は榎本樹郎先生(中京大学名誉教授)揮毫

鈴木康太主将がV2

インカレ高跳び 女子走り幅跳び 石原薫子主将2位



棒高跳び大会記録をクリアした鈴木選手



走り幅跳びで2位となった石原選手

陸上競技の日本学生対 運動公園陸上競技場で開かれた。総合成績は昨年同様月8-10日、福井市の福井の男子5位、女子は11位だった。男女両主将がチームを引っ張った。男子棒高跳びの鈴木康太主将(スポーツ科4、岡崎城西)は初日、「チームに勢いをつけたい」と競技に

臨んだ。参加は35選手。鈴木選手は5回目を2回目にクリアした。ほかに、江島雅紀(日大)、来間弘樹(順大)両選手が1回目で成功していた。大先輩の中、スミズナ助走から見事にクリアし、4年前、山本聖途選手(2013年度体育卒、トヨタ自動車)が作った大会記録に並んだ。江島選手が65を失敗し、2連覇を決めた鈴木選手は、昨年より15センチ記録を伸ばした。「流れ良く突っ込み、無駄なく跳べました。自信になります。来年は70を飛んで、東京五輪への足がかりにしたい」。声が弾んだ。

6回目を跳ぶと、「後は思い切りいけました」の言葉通り、2回目に自己ベストの6回目を跳び、決勝に入った4回目にも10、そして最後6回目は6回6回目に伸ばした。大先輩の中、スミズナ助走から見事にクリアし、4年前、山本聖途選手(2013年度体育卒、トヨタ自動車)が作った大会記録に並んだ。江島選手が65を失敗し、2連覇を決めた鈴木選手は、昨年より15センチ記録を伸ばした。「流れ良く突っ込み、無駄なく跳べました。自信になります。来年は70を飛んで、東京五輪への足がかりにしたい」。声が弾んだ。

報も届いた。行動で手本を示してきた石原選手の後輩へ贈る言葉は「言い訳してへ結局は自分に返ってきた。結果はともかく悔いを残さないように」だった。決勝では5番でバトンを受けた最終走者川端選手が個人種目とは別人のような力みのない柔らかなフォームで、好走。残り100メートルの激戦を制し、3分8秒16で2位に食い込んだ。川端選手は「向こう正面の直線で伸び伸び走れたので残り100で勝負をかけたよ」と思いました。ラップも46秒1と聞いて自信になりました」と会心の笑み。低迷していたトラック種目に陽光が差し込み、青戸慎司監督も「これを短距離再生のきっかけにしたい」と話していた。

デフリン円盤投げ 湯上剛輝選手が銀

トルコで7月に開かれた聴覚障害者の4年に1度のスポーツの祭典、夏季デフリンピックで、陸上競技男子円盤投げに日本代表として出場した湯上剛輝選手(2015年度スポーツ科卒、トヨタ自動車)が55.58で見事銀メダルに輝いた。デフリンピックは、日本ではまだ一般の知名度が低い。今回は史上最多の97か国を視野に入れている。



湯上選手



池田選手

世界パラ400リレー 池田樹生選手が銅

権(7月、ロンドン)の男子400リレー(T42)で陸上競技部の池田樹生選手(スポーツ科3、三

安部選手は準決勝進出

好みが銅メダルを獲得した。同種目には4か国が出場。池田選手が最終走者として出場した。陸上競技部の池田樹生選手(スポーツ科3、三

好みが銅メダルを獲得した。同種目には4か国が出場。池田選手が最終走者として出場した。陸上競技部の池田樹生選手(スポーツ科3、三

元走り幅跳び日本記録保持者 田口 博子さん

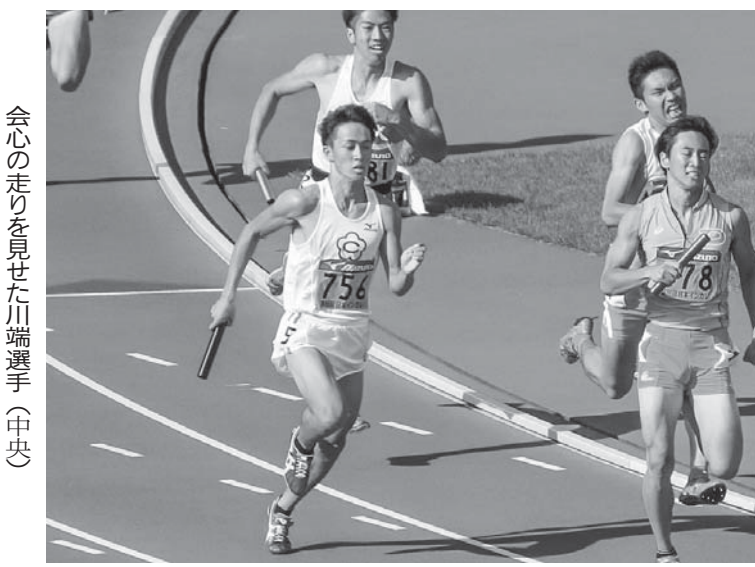
JR穂積駅から徒歩10分余り、遠景に伊吹山を望む。岐阜県瑞穂市の閑静な住宅地に田口博子さんの住まいはある。3人の息子の母親だが、今は夫の朝日大学名誉教授田口知弘さんと二人、ゆったりと毎日を送っている。

五輪のすごさ実感を



1973年度体育学部卒。旧姓・山下博子。72年ミユニオン五輪陸上競技女子走り幅跳び日本代表。五輪は67~74年に日本選手権3位、ユニバーシアード3位、アジア競技大会優勝。74年のアジア大会3位。中京大卒業後、2年間、福岡県立遠賀高校教諭。結婚して岐阜県に。元岐阜県スポーツアドバイザー(陸上競技)。97年度から10年、瑞穂市(旧穂積町)教育委員を務めた。著書「私たちのオリ

った。自分でも「それでびっくりにしてたら、2年になると5回3で優勝。学校も驚き、校舎と校舎の間の細長い土地に幅跳び用のピットを作ってくれた。そして3年の時、5回90で中学日本一に輝いた。高校は陸上強豪校、県立三潁(みづま)高校に進み、立石晃義先生の教えを受けた。「ハミリを撮ったり、古い文献を持ってきてくれたり、古い文献を持ってきてくれたり、熱心に指導をしていた。自分も選手なのに少し観客に



1600リレー 創部以来最高の2位

大会最終日の最終種目として行われたインカレの華「男子1600リレー」で中京大は、1954年の陸上競技部創立以来最高の2位に入賞した。祖父江巧(スポーツ科2、江南)、遠藤信次(スポーツ科3、中京大)、田中宏樹(スポーツ科4、大

教員現役合格25人

文武両道 バスケ、陸上は4人



後ろは牛田さん(左)と佐藤さん(右)と安藤さん(左)と安藤さん

体育会クラブで活動を続けながら、今年度の公立学校教員採用試験に現役合格した学生が、10月13日現在で25人になる。部活と試験勉強を両立する文武両道を実践してきた。クラブ別ではバスケとテニス部と陸上競技部が最も多い4人が合格している。

バスケ部の4人は、牛田貴大さん(善通寺第一)、佐藤卓実さん(東海南)の男子2人と、安藤成美さん(広島皆実)、齋藤美織さん(郡上)の女子2人。牛田さん、佐藤さん、齋藤さんは愛知、岐阜、兵庫県などの中学校、安藤さんは愛知県などの特別支援学校に合格した。来春から保健体育教師となる。

いざ「杜の都駅伝」 女子長距離チーム出場



駅伝本番に向け練習する12人の選手たち

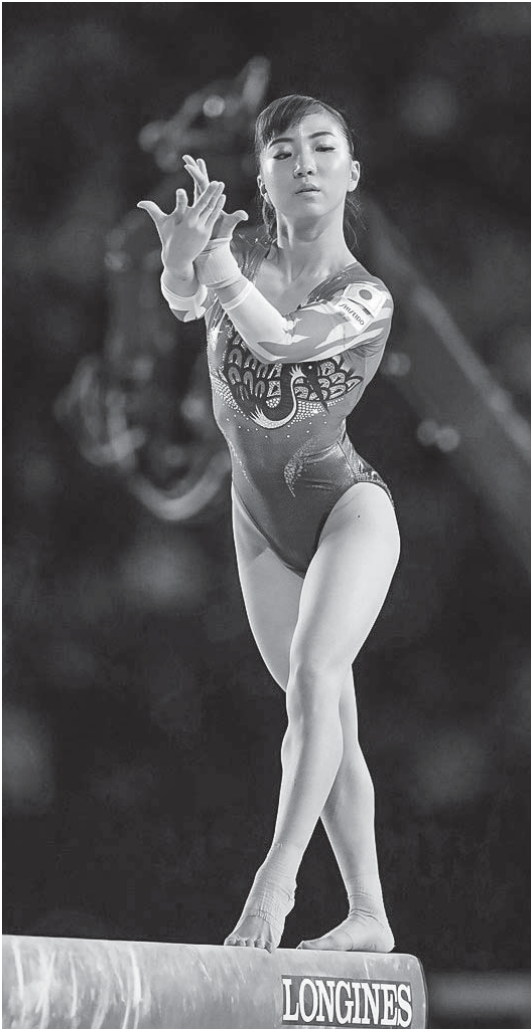
4人は豊田14号館の教師となる。

職資料室を利用し、昨年からは本格的に試験対策に取り組んだ。部活の後は、深夜まで勉強。佐藤さんは自宅に電車で戻る1時間半、安藤さんは1時間、それぞれ車内でも参考書を広げた。佐藤さんと齋藤さんは早朝も教職資料室に通った。勉強を継続できたのは、「みんなと勉強でき、楽しかった」といふ声が多い。仲間には、「メリハリが重要(佐藤さん)」「オンとオフの切り替えが大切(齋藤さん)」とアドバイスしている。

今年度は、スポーツ科学部全体では37人が現役合格している。川口孝志郎長距離コーチは「昨年比べ、故障者もなく、10人余りの選手が6区の出場枠を競い合っています。1年生にも力のある選手がおり、今年度の大会を上位にレベルアップしたい」と手応えを感じている。

仙台市で10月29日に行われる第35回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝、6区間)に中京大は10年連続33回目の出場をする。9月23日に愛知県半田市の半田運動公園陸上競技場で行われた東海地区選手権で優勝し、出場権を得た。選考会には6チームが参加。各校6人が3人ずつ2組に分かれて5000メートルの合計タイムを競った。中京大は1組では1、2、3位を独占、2組でも1、2位を取り、合計タイムは1時間44分33秒だった。

団体戦にこだわり「東京」狙う



LONGINES

世界体操の種目別平均台決勝で演技する寺本選手(YUTAKA/Aフロスポーツ)

体操女子の寺本明日香選手(スポーツ科4、名経大市野)は団体戦に強いこだわりがある。8月のインカレ(富山市)では女子団体で中京大を3位に導き、ユニバーシアード(台湾)では女子団体銅メダルに貢献した。個人総合でもインカレで優勝、ユニバ2位の輝かしい成績だったが、「インカレもユニバも団体戦が楽しかった。大学4年間で団体戦の楽しさを味わった」と語る。

5大会連続出場となった世界選手権(10月27〜8日、カナダ)は種目別平均台で6位に入賞した。大会

継続の疲れもあり、ターンでミスし、メダルを逃した悔しさはある。しかし、来年の世界体操から団体戦が行われる予定で、「モチベーションが上がりやす」と前を向いている。

女子主将として活躍した昨年のリオ五輪では、女子団体4位と、1968年メキシコ大会以来48年ぶりのベスト4を果たした。「団体でメダルをとる」ことを五輪の目標にできた。

中京大学のスポーツ情報 大学HPの「スポーツ」(http://sports.chukyo-u.ac.jp/)、facebook「スポーツ振興部」(左下QRコード)で紹介しています。「中京大学スポーツ」に関するご意見は、スポーツ振興部(sports@mng.chukyo-u.ac.jp)へお寄せください。

世界マスターズ100平泳ぎ 高橋繁浩学部長が「金」



金メダルを手にする高橋学部長

ハンガリーの首都ブダペストで8月に行われた水泳の世界マスターズ大会競泳男子100メートル平泳ぎ(55歳)で高橋繁浩・スポーツ科学部長(水泳部部長兼監督)が金メダルを獲得した。2年前の大会でも同種目の50〜54歳の部で優勝しており、2連覇を果たした。2年前の記録は1分9秒85。今回は1分11秒73だったが、オリンピックでもある自らのベスト1分59秒)で高橋繁浩・スポーツ科学部長(水泳部部長兼監督)が金メダルを獲得した。2014年6月に一般社団法人日本マスターズ水

科2、愛知黎明)は「それ以上」を目指す。12位以内に入ると、年末の全日本大学女子選抜駅伝(富士山駅伝)への出場権を得る。高橋学部長は「その全日本大学女子選抜駅伝の際、「自ら何ができるか」を考え、「できる範囲でやる」というマスターズの楽しみを実践しようと思ったのが出場のきっかけだ。今年1月にはアジア水泳連盟マスターズ委員長に就任。来年7月には名古屋で日本マスターズ大会と同時に第1回のアジアマスターズ水泳の開催も決まった。また、東京五輪翌年の21年には世界水泳選手権が福岡で開かれる。15年から世界マスターズ水泳は、世界選手権の会場で行うことになっており、4年後は日本が舞台になる。「そのころ僕は60代の部ですが、世界記録を狙うぐらいのつもりでやればと思っていま

陸上仲間刺激を受けた

やり投げ選手 ベネット・アンマリさん



CHUKYO SPIRIT

「陸上競技部のみんなからたくさん刺激を受けています。上手な人を見ることで自分も上手くなる。米ウエスタンキャロライナ大学出身のベネットさんは、交換留学生として来日して半年余り。授業後、名古屋から豊田キャンパスに週4、5日通い、やり投げの練習を続けている。中学時代に陸上のさまざまな種目を経験。やり投げは、コーチの勧めで高校から始め、「ストレスから解放されて目の前の1本に集中できる」のが好きだ。留学先も候補5大学のうち、中京大だけが陸上をできるため選んだ。来日当初は、言葉や文化の壁に悩んだが、「大学の先生や陸上部の仲間

の心遣いで毎日がとても楽しくなった」。ひじのけがも治り、充実した大学生活になっている。「日本語をもっと勉強したい」と、半年の予定だった留学期間を半年延ばしている。アメリカとは違い、陸上競技部では自分のメンテナンスを選手自身が行う。食事や睡眠にも気を遣うようになった。「上手く投げられない時は、自分のケアができていなかった時。日本に来て自分をもっと大切にできるように」と嬉しそう。大学院進学を考えているが、やり投げは続けるつもりだ。12月までの残りの留学期間では、「旅行もしたい。やり投げも上手になりたい。勉強にも一生懸命取り組み、いつか日本で働きたい」と語った。(心理学修士1 小林由佳、心理1 福西加純)

「神宮」へ意気込み

秋季3連覇 攻守とも安定

愛知大学野球秋季リーグ戦で中京大は最終週を待たずに優勝し、明治神宮大会の出場権を争う東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦(10月27、29日、パロマ瑞穂野球場)への進出を決めた。秋季は3連覇、春季と合わせリーグ優勝は38度目。王座決定戦は28日の準決勝第一試合(午前10時)が初戦となる。昨年、一昨年は王座決定戦決勝で敗れており、「今年こそ」の意気込みが強い。

投打ともに春季以降、投手を除く先発全員安打も、特に愛知大と対戦したベルアップが図られ、勝負 4試合(うち投手を含む) 第一週は1、2戦とも二けた強さが際立つ。完封勝ちが 試合と数字の上でも一目 得点で途中からタイター4試合、二けた得点4試合、瞭然だった。



エースの本領を発揮した若林投手

田中恒成選手2度目防衛

ボクシングWBOライトフライ級

経済学部4年のプロボクシングWBO(世界ボクシング機構)となった。

ただ、1回に受けたパンチで両目が大きく腫れ、病状が深刻化。ライトフライ級世界チャンピオン田中恒成選手(畑中ジム)の2度目の防衛戦が9月13日、大阪市のエディオンアリーナ大阪で行われた。田中選手が同級13位のバロンボン・CPフレッシュマート選手(タイ)に9回1分27秒TKO勝ちし、防衛に成功した。戦績はこれで10戦10勝「たい」としている。

田中選手にとって初めて東海地区を離れてのタイトルマッチだったが、会場には本学生、教職員、近畿在住の関係者ら50人近くが詰めかけた。「中京大学の戦やスティックパルンなどを送った。試合は、田中選手が1回終了直前、ダウンを喫したが、5回あたりから自分の距離で前に詰め、左ボディ

静岡県富士市の富士川緑地公園で9月下旬に行われたアルティメットの全日本大学選手権男子の部で中京大が9年ぶり3度目の優勝を果たした。大会のMVには岡島選手(スポーツ科4、飯田)が選ばれた。決勝は30日、同志社大との対戦となった。前半は互いに譲らず、シーソーゲームの展開だった。しかし、後半に入り、中京大は初め2点差をつけると、そのままリードを守り切った。

8、9月の夏休み期間に行われたインカレでは、新体操の女子が団体総合で3位に入賞し、表彰台に上った。さらに種目別フープでも2位入賞を果たした。大と対戦し、1-5とリード

アルティメット男子 インカレ3度目V

新体操女子 準硬式ソフト男女 インカレで好成績



女子ソフトが4強進出を決めた本塁生還

女子は1回戦慶応大に12-2、2回戦福井県立大に16-1と大勝したが、準々決勝では優勝した日本体育大に4-13で敗れた。

これまででの自分より強く

大への一歩を踏み出したのだ。相手と比べるのではなく、昨日の自分と比べる。そのために、学生に強制はしない。学生自身に計画を立てさせている。また、今年からセミでコーチングを教えている。「柔道は競技人口の減少が著しい。原因はコーチングにある」と考える。一般的に柔道といえば「厳しいイメージが強く、部活内での体罰が問題となることも少なくない。こういったマイナスイメージが競技人口の減少にも影響している」とみる。

Chukyo's COACH

柔道部 三宅 恵介監督

三宅恵介監督(みやけ・けいすけ)愛知県豊田市出身。星城高校時代に金鷲旗全国高校大会で団体3位、春の全国高校選手権個人100kg級で5位入賞。多くの有名選手を輩出する強豪筑波大学に進学。2011年3月、筑波大大学院修了。2011年4月に中京大学スポーツ科学部非常勤講師。助教を経て今年度からスポーツ科学部講師。柔道部では11年にコーチ、14年に監督に就任。今年度からは部長も兼ねている。

これまででの自分より強く

オリピック日本代表など一流選手がひしめいている筑波大学出身。大学院を修了して故郷に戻り、本学スポーツ科学部で非常勤講師として勤めた。同時に柔道部のコーチにも就任し、3年前に監督に。助教を経て今年度からは講師にランクアップ、部活でも監督に加え、部長の重責も担った。

子供のころから柔道に親しみ、「前監督の竹内(外志)先生にはよく教えていただきました。本学はもう一つの故郷でもある。そんな中でこれまで試行錯誤を繰り返してきた。

「母校(筑波大)の練習メニューを中京大の学生に当てはめて指導したが、うまくいかなかった。勝利を意識し過ぎるあまり、学生のレベルを無理やり引き上げようとしてしまった。現在は「これまでの自分に比べてより強くなることを意識するよう指導している。」「相手に勝つことは重要だがそこに重きを置く必要はなかった」として昨年、男女とも全国規模の大会にコマを進めた。かつての強い中京

「世界の競技である柔道を、今後20年ほどかけてさらに素晴らしいものに。指導者を目指す教員とともに柔道界全体の改革に少しでもお手伝いできればと考えている。」(心理1 福西加純、写真も)